

令和5年度朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（秋季）

朝日庄内森林生態系保全センターでは朝日山地を保全管理するため、巡視活動や様々な保全活動に従事しておりますが、広大な朝日山地をセンター職員だけで見回り、保全管理することは到底できません。そこで、朝日山地に関係の深い団体から、巡視員としてボランティアにより活動していただいております。

今年度も夏山活動の終わりを迎え、その活動を振り返り、来年度の参考とするため、11月25日（土）、鶴岡市朝日中央コミュニティセンター（すまいる）において朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（秋季）を開催しました。



挨拶する松井計画課長

会議は、出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会、山形県猟友会、山形県内水面漁業協同組合連合会、鶴岡市朝日庁舎、国有林職員（東北森林管理局、関係各森林管理署及び朝日庄内森林生態系保全センター）により行われました。

開会に先立ち東北森林管理局松井計画課長から「日頃より朝日山地の巡視をしていただき、誠に感謝申し上げます。一年の総括であるこの会議を通じて、夏山シーズンにおける皆様の活動、森林管理局の取組について、情報共有を図り、活発なご意見をいただければと思います」との挨拶がありました。

事務局から、巡視員等による巡視活動結果と合同パトロールの報告。また、当センターの活動として、森林生態系保護地域における看板設置、植生保護作業、マツノクロホシハバチ調査、オオハンゴンソウ対応、人工林から天然林への誘導の取組について報告がありました。

巡視員からは、「森林生態系保護地域内の人工林から天然林への誘導について」「登山道の整備状況」「朝日自然塾との連携」など活発な議論がなされました。



会議風景（質疑応答）

最後に、朝日庄内森林生態系保全センター中嶋所長から「引き続き各巡視員の皆さんが関心を持っている事柄、自然の変化など、お気付きの点など多数情報をお寄せいただきたい」との閉会の挨拶により終了となりました。